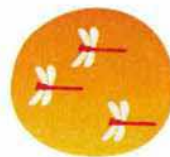




# だいとう子育て通信 No.146



2022年9月1日 発行/大東子育て支援センター Tel.0854-43-9500

月	火	水	木	金	土	日
10月	各行事は、新型コロナウイルスの感染拡大防止・予防のため、変更または中止となる可能性があります。 各行事にお越しの際は飲み物をご持参ください。				1	2
	3 はたやサロン ぽかぽかひろば (幡屋交流センター)	4	5	6 木馬	7	8 久野サロン よちよち (久野交流センター)
10 スポーツの日	11	12	13 木馬 佐世サロン ぽっぽ (佐世交流センター)	14 うしおサークル 要予約 (海潮交流センター)	15	16
17 ちびっこうんどう会 申し込み〆切日	18	19	20 大東サークル 要予約(木馬)	21	22	23
24	25 市育児相談 9:30~11:00 (大東健康福祉センター)	26	27 ちびっこうんどう会 10:00~11:00要予約 (大東地域交流センター)	28	29	30
31						

月	火	水	木	金	土	日
11月	1	2 赤ちゃん教室 (0~1歳半ごろ) 「秋を楽しもう」 要予約	3 文化の日	4	5	6
	7 はたやサロン ぽかぽかひろば (幡屋交流センター)	8	9 子育て教室 (1歳半ごろ~) 「秋を楽しもう」 要予約 (あおぞら保育園)	10 木馬 佐世サロン ぽっぽ (佐世交流センター)	11 うしおサークル 要予約 (海潮交流センター)	12 久野サロン よちよち (久野交流センター)
14	15	16	17 木馬	18	19	20
21	22	23 勤労感謝の日	24 大東サークル 要予約(木馬)	25	26	27
28	29 市育児相談 9:30~11:00 (大東健康福祉センター)	30	※特別に表記のない行事の開催時間は9:30~です。 ※子育てサロン「木馬」は、今年度から新しい場所にて、祝日を除く木曜の9:30~12:00で開催しています。			

### 大東町の保育園

～園開放・一時預かりなどは、直接各園まで～

- ・大東保育園・・・43-6132
- ・かもめ保育園・・・43-5028
- ・あおぞら保育園・・・43-3129
- ・あおぞら保育園乳児分園・・・43-8020

### 地域の子育てサロン (地域の方が運営されています)

- ・久野サロン「よちよち」(久野交流センター)・・・47-0040
- ・幡屋サロン「ぽかぽかひろば」(幡屋交流センター)・・・43-2800
- ・佐世サロン「ぽっぽ」(佐世交流センター)・・・43-2110



暑い夏なので、水を使った見た目にも涼しいおもちゃを作って遊びました。

「浮沈子（ふちんし）」は、握ると中に入れたお魚が沈み、離すとまた浮かんでくるというもの。子ども達は、お魚の入ったペットボトルを嬉しそうに持って眺めていましたよ。

ボトルの周りにセロハンを貼る作業は大人も子どももとても熱中していました。くらげや海草を自由に貼って、とても涼しげでかわいいおもちゃができました。



お母さん達は、浮かんだ魚が下に沈む様子に「えっ、すごいですね!」とびっくり。何度も握って離して、子どもと一緒に見ていました。



「ウォーターマット」には、水を入れて密閉した衣類圧縮袋にセロハンなどで作った魚やくらげ、海草が入っています。触るとひんやりして気持ち良く、揺れる魚の動きを観察したり、上に乗ってみたり、波を作ったりして全身で遊びました。

水の中の物が独特の動きをしたり、手を置いた所がへこんだり、見ても触っても不思議で楽しいおもちゃです。

### コラム「五感と知的好奇心」

「夏の遊び教室」で子どもと遊びながら、五感についてのお話をしました。

五感とは、「味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚」の五つの感覚のこと。五感への刺激は豊かな感性、好奇心、感受性を育みます。

例えば触覚は、水、木、土、布などいろいろな物に触れたり、風が頬に当たったり、多くの豊かな体験の中で感じた物が頭の中に刻まれていきます。その驚きや心地よさなどの「心を揺さぶる刺激」が心を動かし、知的好奇心や主体性を持って行動する土台を作っていきます。

五感を使えば使うほど磨かれ、使わないと退化します。そして五感とは、外からの刺激がないと発達しません。

生まれてから5歳ごろまでが、脳が一番大きく成長・発達する時期。この時期に五感を刺激する体験をたくさんさせてあげたいですね。



お知らせ

## ちびっこうんどう会

10月27日(木) 10:00~11:00 大東地域交流センター

子どもも赤ちゃんも、よーいドン!!  
跳んだり走ったりハイハイしたり、いっぱい体を動かしましょう

参加希望の方はTel.43-9500  
またはスタッフまで♪

# 「しつけ」って、 何をどうすればいいの？

今年度の読み物は「心」がテーマ。

自分の心、子どもの心を知ること、子育ての「ツライ」を「楽しい！」に変えましょう。そんな「心・気持ち」を知ってもらうためのお手伝いです。

「しつけ」は、社会で生きていくための基礎。

しつけは、子どもが社会へ出た時に困らないようにするためのルールや習慣、知恵を教えることです。身につけてほしい内容や教え方はその時期によって異なりますが、目安は大きく分けて3つ。焦らずゆっくり、繰り返し伝えていきましょう。

## 生活習慣の自立

着替えや身の周りのことは自分でできるようにし、早寝、早起き、朝ごはんの習慣を整えましょう。

- ・生活リズムを整える
- ・トイレが一人で行える
- ・食事の前の手洗い、身体と身の周りの衛生・清潔習慣 など



## 他人との関わり方

家族や友達など集団の一員として、相手の気持ちを考える、自分の役割を見つけて行動するなど、人と関わる力を育てましょう。

- ・あいさつをする
- ・自分の感情をコントロールする
- ・相手の嫌がることをしない、言わない



## 社会のルールやマナー

夢中で遊んでいる時などは周りが見えなくなることも。順番や交通ルールを守ること、公共の場でのマナーの必要性も教えていきます。

- ・お店の物は買ってから食べる
- ・人の物をとってはいけない
- ・みんなが使う物を大切に



- ・何をしてほしいか、そうするとどうなるかを伝えます。できた時には、どんな行為が良かったのかを具体的に伝え、上手にほめましょう。（親の都合で叱ったりほめたりすることは子どもの力を伸ばすことにはなりません。）
- ・他の子と比べるのではなく、その子自身の成長を見て、できるようになったことを認めてあげましょう。
- ・まずは親が日頃の生活を見直して、子どもの手本となる習慣を見せましょう。

**Q.何度言っても同じことをするのでイライラしてしまいます。**

A. 繰り返し伝えるのは大切ですが、伝え方が子どもに分かりにくいとまたしてしまうことがあります。

伝え方を変えてみたり、イライラしてしまうならお茶を飲んだりして気持ちを切り替えましょう。

**Q.夫婦で方針が合わずケンカになってしまいます。**

A. 人はそれぞれ違う考え方を持っています。子どもの前で意見が合わない部分をすり合わせていく過程を見せることは、違う意見を持つ人との解決の仕方を学ぶ機会になります。ただし、感情的になってしまうのであれば、子どものいないところで話し合うのが良いでしょう。



お天気が良くて、でも暑すぎず、絶好の水遊び日和でした。



赤ちゃんもみんなプールに入って、お水をチャブチャブ。



そうめん流しならぬ  
←「ボール流し」。



親子でスイカ割り。



お部屋に戻って、牛乳パックで作った虫かごを持って「虫捕り」。カブト虫とクワガタ虫を捕まえました。後日「虫かごを気に入ってお家でも遊んでいます」と感想をいただきました。

穴を開けたペットボトルにお魚のシールを貼って、水遊び用のおもちゃを作りました。お母さんが水を汲んで、落ちてくる水を身体に浴びたり、手で受け止めたりして遊びます。水の感触にもいろいろあるもので、冷たさを感じたり、浸かったり、水面を叩いたり、良い刺激になっていました。みんな夢中になって、笑顔いっぱいの水遊びでした。



まだ出たくなーい！

## 7月5日 たなばた会

阿用交流センターで開催した子育て支援センターのたなばた会。笹飾りと金魚鉢の製作、恒例のふれあい遊び、大玉転がしなどをみんなで楽しみました。近くに阿用川があるので、魚にちなんだ出し物や遊びをしました。「きんぎょ釣り」では夢中になって釣りをする子もいて、「釣れたー！」と親子で一緒に喜んでいました。



みんなでふれあい遊び。



大玉転がし。「ボールが来たー！」

ペーパースーツもしました。



カニちゃんどじょうちゃん。



くじらさん。木馬にいるので会いに来てね。

ペーパースーツ「阿用川のたなばたまつり」には、実際に川に住む生き物たちがたくさん登場しました。大きくくじらみこしを先頭にみんなで七夕行列の行進。楽しかったですね。



きんぎょ釣り。金魚鉢の台紙に貼ってお土産にしました。